

**ロイヤルフードサービス株式会社と協働
『野菜をもっととろうプロジェクト』開始
野菜摂取量が推定できる機器「ベジチェック®」を
シズラー東京ドームホテル店に設置
サラダバーの定期利用で野菜摂取を促進 6 月 1 日(火)より**

カゴメ株式会社は、カゴメが推進する「野菜をとろうキャンペーン」に共感頂いたロイヤルフードサービス株式会社が運営・展開するサラダバー&グリル「シズラー」と、日本人の野菜摂取量不足の解消を目的とした『野菜をもっととろうプロジェクト』を両社協働で立ち上げ、シズラー東京ドームホテル店にて各種取り組みを実施します。

野菜が不足しがちな日本人に、摂取量のチェック^(※1)と「ラリーカード」等の仕掛けで野菜摂取を促進

厚生労働省が推進する「健康日本 21」では、成人 1 日あたり野菜 350g 以上の摂取が推奨されています。しかしながら、日本人の平均野菜摂取量は約 290g で、60g の野菜が不足しています。

(平成 22 年～令和元年国民健康・栄養調査(厚生労働省)での日本人の平均野菜摂取量は約 290g。)

このたび、カゴメ株式会社とシズラーは協働プロジェクトを立ち上げ、カゴメの長年のノウハウと「ベジチェック®」と、シズラーのサラダバーという様々な野菜を摂取していただける場を活かして、美味しく、楽しく野菜不足を解消する提案を行ってまいります。

(※1)摂取量のチェックは推定量となります。



【実施概要】

シズラー東京ドームホテル店にて、下記施策を実施いたします。



ベジチェック数値改善とグランプリへの期待感を動機付けに野菜摂取を促進

①「ベジチェック®」設置

設置期間：2021 年 6 月 1 日～11 月 30 日（予定）

皮膚のカロテノイド^{(*)2}量を光学的に測定することで野菜摂取レベルと推定野菜摂取量を表示することを可能にした機器「ベジチェック®」を、半年間シズラー東京ドームホテル店の店頭に設置。設置期間中は無料でベジチェック測定ができ、自身の野菜摂取レベル(ベジチェックスコア)を確認することができます。ベジチェックは、LED を搭載したセンサーに手のひらを当て、数十秒で測定が完了することから、その場で結果を見ることができる簡便さが特徴です。



左: ベジチェック®測定風景 右: ベジチェック®測定結果画面

(*)2)カロテノイド

野菜(特に緑黄色野菜)や果実に広く含まれる、赤～橙～黄色の色素。にんじん等の緑黄色野菜に豊富なβ-カロテンやルテイン、トマト・スイカの赤い色素であるリコピン、温州ミカンのβ-クリプトキサンチンなどがその代表です。摂取することで体内に吸収され、皮膚にも蓄積することがわかっており、その積極的な摂取による健康効果が期待されています。

②「ベジチェックスコア グランプリ」開催

ベジチェック設置期間中、ご希望者全員に「ベジチェックラリーカード」を配布します。6回コースに加えて、気軽に参加できる3回コースの2種を用意し、達成者全員に参加賞をプレゼント(参加賞は6回と3回で異なります)。また、ベジチェックスコアのアップ率などを基準として、上位者10名にはグランプリ終了後にカゴメ賞・シズラー賞としてカゴメ社製品詰合せやサラダバー食事券等の賞品を進呈予定です。



上: ラリーカード(3回、6回)
下: 参加賞(イメージ)

今後の取り組み～食育イベント「ベジフルキッズクラブ」を共同開催～

シズラーが毎年開催する野菜ソムリエによる食育イベント「ベジフルキッズクラブ」を、本年度はカゴメ株式会社と共同で開催します。お子様がベジチェックを用いて自身の野菜摂取状況を確認しながら、野菜について楽しく学べるプログラムを実施予定です。(2021年7月末～8月初旬開催予定)

今後もカゴメ株式会社とサラダバー&グリル「シズラー」は、互いのノウハウ・リソースを掛け合わせ、野菜の摂取による美味しく健康な「食」の提案をしてまいります。

<シズラーについて>

シズラーは、1958年にアメリカ・カリフォルニア州創業、1991年に日本で開業し、現在国内で10店舗を展開しているサラダバー&グリルレストランです。サラダバーには新鮮な野菜やフルーツ、スープ、サラダ、タコス、デザート、ドリンク等70種類以上のバラエティ豊かなラインナップを取り揃えています。シズラーのグリルは、素材の美味しさを充分にいかしたオリジナルのレシピに基づいて調理、直火で余分な油を落として焼き上げます。ナチュラルでヘルシー、そして美味しいグリル料理をお楽しみいただけます。



【サービスに関するお問い合わせ先】

カゴメ株式会社 健康事業部

E-mail: kagome.happy-wellness@kagome.co.jp